

ウンチの化石「糞石」

ふん せき

遺跡の発掘調査では昔の

人々のゴミが出土しますが、ご

くまれに昔の人や動物のウンチが

化石になって出土することがあります。

これを糞石といいます。福井県の鳥浜貝

塚では縄文時代前期（およそ5,500年

前）の糞石が2,000点以上出土していま

す。これらの研究を行ったのが千浦美智子さん

でした。最初に糞石を一点一点観察し、形態

から始めに出てくる先端を「ハジメ」、終わりの部

分を「シボリ」、中間部分で、曲がっているもの

を「バナナ」、まっすぐなものを「チョコ」、便秘気

味のを「コロ」、下痢気味のを「チビ」と6

種類に分類しました。また、糞石をほぐし顕微鏡

で調べると、獣肉や山ゴボウの繊維や魚のウロコ

や骨などが含まれていることが分かり、当時の食

生活を復元する手掛かりが得られました。

福岡市内では板付遺跡で糞石が出土してい

ます。小さいので動物のものかもしれません。

糞石の研究は1982年に千浦美智子さ

んが35歳の若さでお亡くなりになった

後、あまり進んでいません。どなたか

「糞石」を研究してみませんか。



板付遺跡で出土した糞石

--福岡市博物館からのおしらせ

「福岡市博物館開館30周年記念展
福岡の名宝一城と人とまちー」

開館30周年を記念し、これまで市民の皆様をはじめ
多くの方々の協力を得て収集した17万件以上の収藏品
の中から、選りすぐりの名品を一堂に展示します。

期間：10月10日（土）～11月29日（日）
場所：早良区百道浜3丁目1-1 休館：月曜

--埋蔵文化財センターからのおしらせ

企画展示「一新発見速報展—
発掘されたふくおか2020」

期間：令和2年10月27日（火）～令和3年2月14日（日）
場所：博多区井相田2-1-94 休館：月曜

--福岡市の文化財 ～登録有形文化財(建造物)編～

リーフレットができました！

《おもな配布場所》
情報プラザ（市役所1階）
各区役所、市民センター
観光案内所（天神・博多駅）
文化観光情報ひろば（アクロス福岡）
福岡市博物館、福岡市美術館、総合図書館
埋蔵文化財センター、鴻臚館跡展示館
赤煉瓦文化館、博多町家ふるさと館 など



※ご来館の際はマスクの着用をお願いいたします。
新型コロナウイルスの感染防止策により、臨時休館することが
あります。詳細は各館にお問い合わせください。

福岡市経済観光文化局文化財活用部

住所：福岡市中央区天神 1-8-1
TEL: 092-711-4666 FAX: 092-733-5537

文化財の保存・管理・活用に関すること	文化財活用課	TEL:092-711-4666
史跡の整備・活用に関すること	史跡整備活用課	TEL:092-711-4784
埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること	埋蔵文化財課	TEL:092-711-4667
埋蔵文化財の収蔵・保管・分析に関すること	埋蔵文化財センター	TEL:092-571-2921

ホームページ 福岡市の文化財

<https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中！



うんちクイズの答えは
「C. トイレットペーパー」だよ！

歴史の風 ふくおか文化財だより

Vol.29 2020年10月号



トイレの歴史は 人類の歴史!?

私たちの生活には欠かせないトイレ。最新のトイレは
—自動的にふたが開き、座って用を足し、手を伸ばせばそこには
柔らかなトイレットペーパー。使用後は、自動的に水が流れ
ふたが閉まる—そんな“癒し”さえ感じられるほどに進化したトイ
レでぜひ考えてほしい、「昔のトイレってどんな感じだったの？」と。

トイレの歴史は人類の歴史といってもいいほど、トイレを調べる
ときさまざまなことが見えてきます。今回は、古代のトイレ事情を
のぞいてみましょう！

うんちクイズ



昔の人はこれを〇〇として使っていました。
さて、何でしょうか？



A. トイレのレバー



B. トイレブラシ



C. トイレットペーパー

答えは裏（詳しい解説は中を読んでね）

～国史跡鴻臚館跡 トイレ遺構①～

昔のトイレってどんな形??

国史跡鴻臚館跡で、古代のトイレの跡が日本で初めて発見されました。このトイレは奈良時代（8世紀中ごろ）のものだと考えられています。鴻臚館のトイレは、南館と北館それぞれの南西隅、塀の外から5か所見つかっています。

形は長方形のもの（右の写真）と正方形のものがあります。長方形のトイレは、なんと長さが3～4m、幅が1m、深さは4m以上！硬い岩盤を掘り抜き、砂の層まで深く掘ることによって、底に水分がたまるないようにしたのでしょうか。



トイレの発掘風景

では、こんなに大きくて深～いトイレ、どうやって使っていたの？下の写真のように穴に板を渡し、またがって使っていたようです。落ちたら大変ですね・・・



お尻をふくための木の棒

使用再現図（鴻臚館トイレ遺構にて）※穴は画像加工

～国史跡鴻臚館跡 トイレ遺構②～

ウンチにはたくさんの情報がかくれている!?

外交や交易の拠点だった鴻臚館には、たくさんの外国人が滞在していました。滞在中はどんな物を食べていたのでしょうか。

その手掛かりは、トイレの穴。穴からは、いろいろな植物の種類（ウリ、ナツメ、ナス、キイチゴ、カキ、山椒など）や淡水魚（コイ科の魚など）、**ブタまたはイノシシの骨**が出てきました。結構グルメだったんですね！また、トイレから発見された**寄生虫の卵**も貴重な情報源。寄生虫の卵を調べると、トイレごとに違いがありました。食生活が異なる外国人と日本人でトイレを別々に使っていたのかもしれない。

見つかったトイレはまだ5か所。そもそもトイレを使えるのは限られた人だったのでしょうか。他の人々はどこで用を足していたのかも気になるところです。



ウリ類 種子



ナツメ 核



ナス 種子



キイチゴ属 核



カキノキ属 種子



サンショウ 種子

鴻臚館跡展示館 場所：中央区城内1 TEL：092-721-0282
開館時間9:00～17:00（入館は16:30）入館料無料

～国史跡鴻臚館跡 トイレ遺構③～

ウンチをした後お尻をふくのは・・・

鴻臚館跡で見つかったトイレを使っていた人たちは、いったい何を使ってお尻をふいていたのでしょうか…。今と同じ紙？

いえいえ、実は、これでお尻をふいていたのです！「箸？」ではありませんよ。ウンチをした後にお尻をぬぐう木のへらのようなもので、**箸木**といいます。



箸木



箸木がトイレから発見された様子

実はこの箸木、もとは木の札でした。これは**木簡**と言って、当時とても貴重だった紙の代わりに、古代の人々がメモ用紙や荷札として使っていたものなのです。使い終わった後も、もったいないから再利用！縦方向に割って割れ口をいねいにけずり、お尻が痛くないようにして、トイレトペーパーのかわりに使っていたんです。

お尻を木のへらで拭う時代もあったのです。トイレトペーパーのある時代に生まれてよかった!?



トイレから出土した木簡

福岡市埋蔵文化財センター ホームページ
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>

